

(12) 沖 縄



沖縄地域では、景気は着実に回復している。

- ・ 観光は増加している。
- ・ 個人消費は堅調に増加している。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

前回からの主要変更点

	前回 (令和元年 8 月)	今回 (令和元年 11 月)	
観光	堅調に増加	増加	

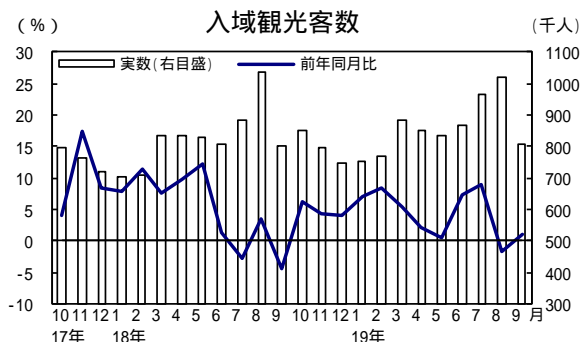
1. 観光の動向

観光は増加している。

入域観光客数のうち、国内客について、7月は、前年同月と比べて航空路線の拡充があったことや、全国高等学校総合体育大会が開幕したこと等から、前年を上回った。8月は、台風の影響による航空路線の欠航があったものの、全国高等学校総合体育大会があったこと等から、前年を僅かに上回った。また9月は、台風の影響による航空路線の欠航があったものの、昨年は関西国際空港の一時閉鎖に伴う航空路線の欠航があったこと等から、前年を上回った。

外国客については、7月は、前年同月より航空路線の拡充があったことや、大型クルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。8月は、韓国市場における訪日旅行自粛の動きや航空路線の減便に加え、香港デモの影響による空港の閉鎖があったこと等から、前年を下回った。また9月は、クルーズ船の寄港回数の増加により海路客は増えたものの、韓国市場における訪日旅行自粛の動きや航空路線の減便があったこと等から、前年を下回った。

主要ホテルの7 - 9月期の客室稼働率は、那覇市内ホテルは前年同期を下回ったものの、リゾートホテルは前年同期を上回っている。



入域観光客数等の動向

(単位: 千人、%)

	2019年			2019年
	1-3月	4-6月	7-9月	9月
入域観光客数	2,410	2,555	2,794	809.3
(前年比)	7.0	3.3	2.6	1.0
ホテル稼働率	78.0	78.9	80.2	76.6
(前年差)	2.1	0.2	5.0	7.8

(備考) 1. 入域観光客数は沖縄県観光政策課調べ。

2. ホテル稼働率は日本銀行那覇支店調べ。

3. ホテル稼働率の前年差については、内閣府にて算出。

2. 個人消費の動向

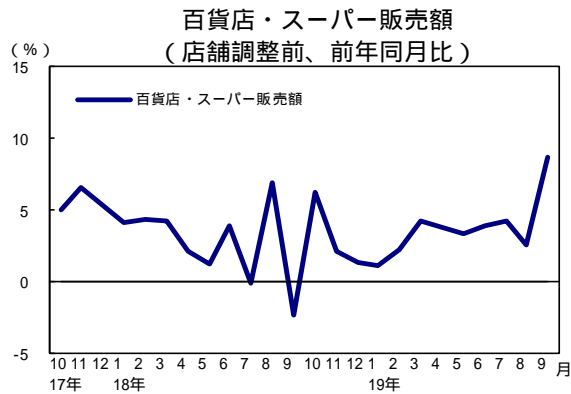
個人消費は堅調に増加している。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

7月は前月比0.6%増、8月は同2.1%減、9月は同2.4%減となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

7月は、中元需要により食料品が、住宅関連で家電や日用品が伸長したこと等から前年を上回った。8月は、家電が伸長したこと等から前年を上回った。9月は、酒のまとめ買いなどにより食料品が、前年に台風接近による臨時休業があった反動増により衣料品が増加したことから前年を上回った。



	2019年7-9月	2019年7月	8月	9月
RDEI (消費*1)	1.7	0.6	2.1	2.4
百貨店・スーパー(*2)	5.0	4.2	2.6	8.7
コンビニ(*2)	8.4	10.6	9.8	4.7
乗用車(*3)	4.2	9.9	6.0	25.2
(季節調整値)(*3)	0.6	5.2	21.8	21.2

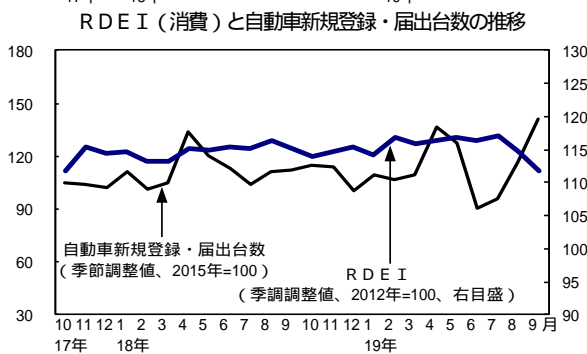
(備考) 1. 季節調整済前期(月)比(%)

2. 前年同期(月)比(%)

百貨店・スーパーは経済産業省調べ(店舗調整前)

コンビニは日本銀行那覇支店調べ

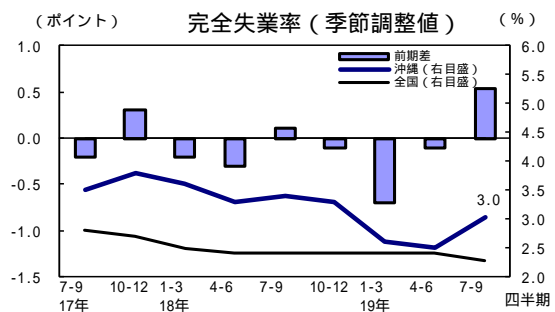
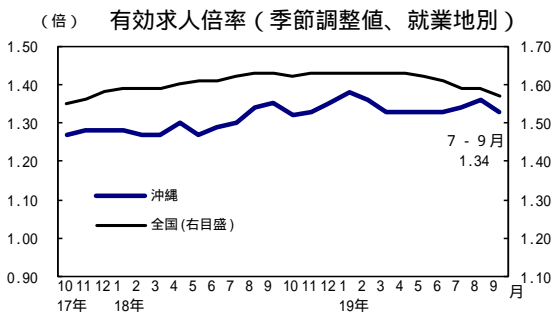
3. 乗用車は、乗用車新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%)



3. 雇用情勢

雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期を上回っている。



(備考) 沖縄県「労働力調査」の月次値を、内閣府にて四半期平均化。